

酔っ払い (お酒に酔っているようす)

- pissed
- blitzed
- off one's face
- hammered など

例文 1

He drunk two bottles of vodka on Saturday night. Then, **he was so pissed.** (**he was so blitzed.** / **he was off his face.** / **he was so hammered.**) He didn't remember anything on the following day.

あいつ、土曜の夜にウォッカのボトルを2本空けて、**かなり酔っ払ってたよ**。次の日には、何にも覚えていないんだから。

例文 2

Wife: It's 2am already, where have you been? Oh, **you are off your face!**

奥さん：もう深夜2時よ。こんな時間までどこ行ってたの？あ、**酔っ払ってるのね！**

バラ売り (まとめてあるものを個々で販売)

- sell something singularly

例文

Do you sell the carrots singularly?

このニンジン、バラ売りしていますか？

似合う？

- Is this me?
- Would it suit me?
- Is it my style? など

※ "Is this me?" は尋ねる物を手に持っている時に、それを掲げながら聞く。

例文 1

Helen: (holding up a dress) **Is this me?**

Kate: It's not you. / It's great.

ヘレン：(手にドレスを持って) **これ似合う？**

ケイト：あんまり似合わないかな。/ すごく似合うよ。

例文 2

(ポールは妹へのプレゼントを買いに、ケイトとブティックに来た)

Paul: Hey, Kate. What do you think about this? **Is it her style?** (**Would it suit her?**)

Kate: Yeah, that's very cute! I think she will like it!

ポール：ねえ、ケイト。これどう思う？**妹に似合うかな？**

ケイト：すごいカワイイ！きっと気に入ると思うわ！

この方に聞きました!



Perth Institute of Business and Technology
パースインスティテュートオブビジネスアンドテクノロジー
先生

Allison Wrench さん

量り売り (重さを測って販売)

- sell something by weight
- sell something by the kilo

例文

Do you sell this by weight?

これ、量り売りなの？



電話番号などで数字を読む時、“11”は『ダブルワン』と読みますが、同じ番号が3つや4つ続く時はどうやって読むの？

ビジネスや友達同士だけでなく、電話注文の時や予約を入れる時などに、お店の人に自分の電話番号を伝えますよね。英語では、“111”など同じ番号が3つ続いた時は『トリプルワン』、“1111”など4つ続いた時は一般的に『ダブルワン、ダブルワン』と“11”が2つという意味で伝えます。また、オーストラリアのフリーダイヤルの“1800”は、『エイティーン・ハンドレッド』とよく言います。もちろん、より正確に伝えるため、1つひとつの番号で伝えるのも良いでしょう。(Allison さん)

© THE PERTH EXPRESS